

第10回 JET地域国際化塾について（開催県：長崎県）

開催概要

- 日 程：令和7年（2025年）12月17日（水）～12月19日（金）
- 参加者：JETプログラムに参加している外国青年
地方自治体・地域づくり関係者 約80名
- 主 催：総務省・長崎県
- テーマ：被爆80年の節目の年に長崎で学ぶ地域づくり

実施内容

● 1日目 被爆体験講話・平和に関するワークショップ

被爆体験講話：三瀬 清一郎 氏

ワークショップ：一般社団法人Peace Education Lab Nagasaki 代表理事 林田 光弘 氏

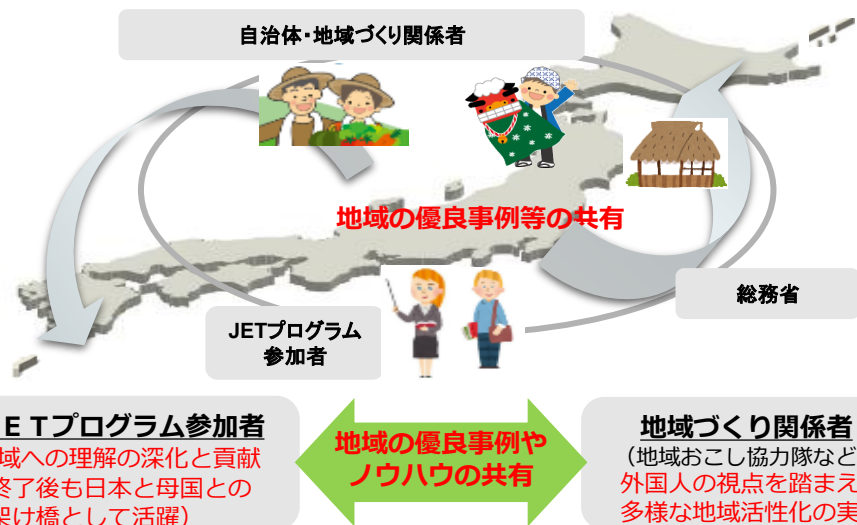
● 2日目 地域おこし協力隊等の地域づくり関係者が活動する地域での現地視察・意見交換

○主な視察先（大村・波佐見エリア、西海エリアの2つのグループで、地域おこし協力隊経験者等が活動する地域活性化の現場を体感）

- ・おおむら夢ファーム シュシュ：「令和5年度ふるさとづくり大賞」内閣総理大臣賞を受賞した実績や、
地域農業の活性化と後継者育成、地域振興について意見交換
- ・くらわん館：波佐見町の伝統工芸である波佐見焼の絵付けの体験と地域振興について意見交換
- ・音浴博物館：廃校になった小学校分校の校舎を活用した全国的にも珍しい「レコード」に着目した
博物館視察と地域おこし協力隊との意見交換
- ・雪浦地区：まち歩きを行い、地域一体となっていて行っている取り組みを視察

● 3日目 JET青年によるグループワーク・発表

○長崎県で活動する地域おこし協力隊経験者等の地域の活性化の取組を学んだ上で、地域の課題解決や魅力向上のために、自分たちがどのように地域に関わることができるかをテーマに、グループで意見交換・発表を実施。



現地視察・意見交換のイメージ